



## 2月の園だより

学校法人志賀学園  
松の実こども園  
令和5年2月1日

先日、10年に1度の大寒波襲来ということで、空容器に水を入れて帰りました。次の日、氷になっている様子を見て、自然の不思議に感動していた子どもたちでした。

子どもたちは、お正月遊び、郵便屋さんごっこ、サッカー（日本サッカー協会様よりサッカーゴールとボールをいただきました）など、毎日生き生きと遊んでいます。

また、2月25日（土）のわくわくキッズコンサートに向けて、童謡や英語の歌、楽器演奏にも取り組んでいます。今年度は、1部はばら1組とばら2組、2部はすみれ2組とさくら2組、3部はすみれ1組とさくら1組、とご覧いただきます。ばら組さんはそれぞれのクラスの取り組みをお楽しみいただき、すみれ組さんとさくら組さんは、成長段階の様子をご覧いただけるとと思います。引き続き感染対策にご協力いただきながら、一年間の総まとめの行事をお楽しみくださいますようお願い致します。

さて先日、野球の応援歌などを多く手がけた福島市出身の作曲家古関裕而氏が1月13日に野球殿堂入りをしたという報道がありました。これまで4度候補に挙がりながら逃してきただけに、悲願をかなえて関係者の方々は喜びに沸き立ったそうです。皆様もよくご存じだと思いますが、全国高校野球選手権の大会歌「栄光は君に輝く」は古関氏が作曲しました。毎年、聖光学院高校野球部では夏の大会前、グラウンドで「栄光は君に輝く」を流して士気を高めているそうです。古関氏はキャッチボールもしたことがなかったのですが、「(選手たちに)エールを届けたいという思いで作曲していた」そうです。代表作には、大阪タイガースの歌（六甲おろし）・巨人軍の歌（闘魂こめて）・早稲田大学応援歌「紺碧の空」・慶応大学応援歌「我ぞ覇者」など、私たちにも馴染みの深い曲を、同郷の方が作曲されていたということは、大変光栄なことですね。

2月3日は節分です。節分の起こりは古く706年、文武天皇の時代に遡ります。疫病が流行し農作業も不作が続く多数の死者が出たそうです。そこで天皇は国民の安寧を願い、悪い病気や不作は鬼の仕業として、豆をまいて鬼を追い払う追儺式を行ったのが、豆まきの始まりと言われていました。昔から数え年の分、豆を食べると病気をしないとされています。園では「福は内、鬼は外」と豆まきをして邪気を払います。当日は、子どもたちが作った鬼のお面と角箱を持ち帰りますので、是非ご家庭でもお楽しみ下さい。